教育･研究などへの取組状況(令和５年度)

総合工学システム学科	系･コース
	一般科目系
職階	氏名
講師	松井　悠香

項目	取　組　状　況
教　　育	⬬令和 5 年度担当科目 ① 英語 1,2（本科 1 年)、②英語表現Ⅲ（本科 3 年)、③特別研究（本科 3 年） ⬬担当科目の取組状況（工夫・改善した点） ①本科 1 年生が対象のため、板書の徹底をさせるために配布プリントでは行間を広くし、十分にメモがとれるデザインにした。セクションが終わる毎、教科書英文の空所補充小テストを実施した。実施した小テストは教科担当が採点し授業内に返却した。教科書の新出語彙・表現定着を図るため、Quizlet を配信した。 ②教科書の文法は既習事項が主だったため、学生が個人のペースで演習ができるよう Google Forms を使用した。ただし、和文英訳は解答にばらつきがあるため、教科担当が解説をした。なお、プレゼンテーション原稿はすべて Google Classroom 上で提出をさせ、教科担当は修正が必要な箇所にコメントを入れた。原稿は NET による修正もおこなった。プレゼンテーションの実施に向けて、ルーブリックを共有し、「伝わる英語」とはどういうものなのかを学生と一緒に考えた。 ③「宝塚歌劇への招待」と題し、授業をおこなった。研究発表に向けテーマを模索するため、映像を鑑賞した。研究テーマはどのような組織なのかという広いものからメイクの仕方といった狭いものになるように設定し、聞き手に配慮した発表順にした。リハーサル実施後、全員にコメントをメールし、改善策を提案した。
研　　究	⬬該当年度の研究テーマ：「成功した授業外英語学習とはなにか？」 ⬬学術論文執筆： ● 松井 悠香. (2023). 「Google Forms を組み込んだ英文読解の授業研究―定期試験の誤答分析を通して―」 『Asphodel 58 号』 52-73. ⬬学外発表実績： • 授業外英語学習の可能性とは？高専生を対象にした量的・質的データをもとに 第 16 回 DWCLA 語学教師の会 2023 年 7 月 23 日

	• 授業外英語学習実現の条件とは？ ―高専英語教員へのインタビューデータから― 全国高等専門学校英語教育学会 2023 年9 月3 日 • 高専における授業外英語学習の実施状況とその条件とは？ ―学生への質問紙調査と教員へのインタビュー調査結果より― 第 201 回次世代大学教育研究会(NextEdu-201)・教育の国際化研究会 2023 年度第 3 回研究会 2024 年1 月27 日
社会貢献	

教育・研究などへの取組状況（令和４年度）

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
講師	松井　悠香

項目	取　組　状　況
教　　育	⬬令和 4 年度担当科目 ① 英語 1，2（本科 1 年）、②英語表現Ⅲ（本科 3 年）、③特別研究（本科 3 年） ⬬担当科目の取組状況（工夫・改善した点） ① 本科 1 年生が対象のため、板書の徹底をさせるために配布プリントでは行間を広くし、十分にメモがとれるデザインにした。セクションが終わる毎、教科書英文の空所補充小テストを実施した。教科書英文内容の理解度をはかるため、Google Forms を使用した英問英答を授業外学習として課した。教科書の新出語彙・表現定着を図るため、Quizlet を配信した。 ②教科書の文法は既習事項が主だったため、学生が個人のペースで演習ができるよう Google Forms を使用した。ただし、和文英訳は解答にばらつきがあるため、教科担当が解説をした。なお、プレゼンテーション原稿はすべて Google Classroom 上で提出をさせ、教科担当は修正が必要な箇所にコメントを入れた。原稿は NET による修正もおこなった。プレゼンテーションの実施に向けて、ルーブリックを共有し、「伝わる英語」とはどういうものなのかを学生と一緒に考えた。 ③「宝塚歌劇への招待」と題し、授業をおこなった。研究発表に向けテーマを模索するため、映像を鑑賞した。
研　　究	⬬該当年度の研究テーマ：「成功した授業外英語学習とはなにか？」
社会貢献	

教育・研究などへの取組状況（令和３年度）

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
講師	松井　悠香

項目	取　組　状　況
教　　育	●令和３年度担当科目 英語Ⅲ（本科3年）、英語表現Ⅲ（本科3年）、英語Ⅳ（本科4年） ●担当科目の取組状況（工夫・改善した点） Google Classroom で音読テストを実施した。学生に音声の入った動画を提出させたのち、 Classroom 上で評価し、返却までをおこなった。授業内の提示資料、小テストの解答例・平均 点、ワークの解答を Classroom 内で共有した。新出単語・和文英訳は Quizlet を作成し、学生 の授業外英語学習の実施を促した。 ●特記すべき教育方法の実践例 英語表現Ⅲでは学生の苦手箇所の把握のため、Google Forms で問題に関する質問の有無を尋 ねた。質問がある学生には質問内容を記載してもらい、次の授業内で解説を行った。 ●校長顕彰などの受賞 なし
研　　究	●該当年度の研究テーマ：「成功した授業外英語学習とはなにか？」
社会貢献	